

1月の歴史カレンダー

★1月に何が起こったか

1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
新日窒「チッソ株式会社」と社名変更 (1965/S45)			水俣病資料館オープン(1993/H5) 	熊本県、「水俣病問題解決支援財団」を設立(1996/H8)	水俣病市民会議事務局長の松本勉氏が「水銀(みずがね)」第3集を自費出版(2005/H17)	水俣病資料館の2003(平成15)年1年間の入館者数が5万人を突破(2004/H16)
8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日
水俣病闘争支援熊本県連絡会議、早期全員救済の趣旨の署名を知事へ提出(1996/H8)	政府、閣議でチッソ支援策と水俣・芦北地域再生振興の補助金として約250億円の支出を決定(1996/H8)	◆日窒、水俣漁協組合に漁業被害補償金として15万円余を支払う(1943/S18) ◆昭和電工が鹿瀬工場におけるアセトアルデヒドの生産を停止。(1965/S45)		◆野口邊、鹿児島大口村に曾木電気(チッソの前身)創立。資本金20万円(1906/M39) ◆水俣病対策市民会議結成(代表:日吉フミ子。のちに水俣病市民会議と改称)(1968/S43) ◆チッソ(株)、創立100年を迎える(2006/H18)		水俣病出水の会が不知火海沿岸に住む未認定患者ら75人分の認定申請(2005/H17)
15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日
	厚生省食品衛生調査会水俣食中毒特別部会発足(1959/S34)	◆市漁協、新日窒に対し①汚濁水の海面放流中止②流す場合は浄化装置を設置し、特に酸を中和し無害証明せよと申し入れ(1957/S32) ◆県、水俣湾に汚染魚拡散防止のために仕切網を設置(1974/S49)	チッソ、水俣市の5患者団体に救済対象者への一時金の支払方法を説明(1996/H8)		患者家族141人、チッソに対し、総額16億3,000万円余の慰謝料請求を熊本地裁に提訴。(第2次訴訟)(1973/S48)	鹿児島県公害被害者認定審査会設置(1970/S45)
22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日
安定資金闘争おわる。新日窒労使、地労委のあっせんで妥結、協定書に調印(1963/S38)	チッソ(株)が創立100周年謝恩会を開催(東京・虎ノ門)(2006/H18)	「水俣メモリアル」第9回熊本景観賞受賞(1997/H9) 	熊本県水俣湾魚介類対策委員会が発足(1989/H1)	鹿児島県が水俣病の認定申請者9人について3人を保留6人を棄却処分(2004/H16)	水俣病公式確認50年みなまた曼荼羅話会が開かれる(2007/H19)	熊本県、水俣湾周辺地域健康対策検討会設置(1991/H3)
29日	30日	31日				
水俣病患者連合と水俣市長、水俣病全面解決のため定期協議の場を持つことで合意(1990/H2)	熊本県水俣病認定審査会が今後議事録を作成することを決定(2004/H16)	水俣湾魚類水銀調査を再度実施(2005/H17)				